

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月26日		記入者		連絡先 2823
部 名	環境事業部	課 名	ごみ減量推進課	課長名	江成 博
事務事業名	循環型社会普及啓発事業				
予算上の事務事業名	循環型社会普及啓発事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	21210	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				事業開始年度
施策名	第1施策 リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推				平成16年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	新一般廃棄物処理基本計画		「ともにつくる循環型都市さがみはら」を基本理念において、市民、事業者、行政がそれぞれの役割と責任を認識し、自らが主体的に行動することでその実現を目指す。		
計画年次	平成14	年度～	平成22	年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
循環型社会の形成に向け、リデュース、リユース、リサイクル、適正処理等について、市民への意識啓発をし、ごみの減量化・資源化に対する取り組みを促進する。			市民一般		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> ●シンポジウム・まちかど講座等の開催 ・さがみはらごみダイエツトシンポジウム 開催日：平成17年7月23日(土) 参加者数：223名 概要：パネルディスカッション形式 テーマ：「ごみ減量行動のポイントは市民・市業者の協力と連携」 コーディネーター：早川哲夫氏(麻布大学大学院教授) パネリスト：市民団体等6名 ・まちかど・出前講座等の開催 平成17年度 22回開催 1,093名参加 ●パンフレツト等の作成 ▲リサイクル情報誌「リサイクルプレス」の作成、配布230,000部 ▲啓発パンフレツト「日常生活ごみのダイエツト」作成、配布(随時作成、16年度作成実績あり) 					
6 関連・類似事業や他市の状況					
札幌市「さっぽろゴミゼロシンポジウム」平成16年3月13日(土)開催 目黒区「めぐろ ごみゼロシンポジウム」平成14年12月5日(木)開催及び環境学習出張講座(随時)					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	0	3,835	976	1,150	4,300
一般財源	0	3,835	976	1,150	4,300
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	2,116	2,135	2,168	2,201
事業コスト合計	0	5,951	3,111	3,318	6,501
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	シンポジウム・まちかど講座等の開催			対象名称と単位	開催回数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	0	1,681	1,744	1,877	1,909
対象数	0	22	23	25	25
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	76,409	75,826	75,080	76,360
前年度比		#DIV/0!	0.99	0.99	1.02

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	開催回数	指標式と指標の説明	月2回（まちかど講座等）×12月+年1回（シンポジウム）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	0.0	22.0	23.0		
目標	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	88.0	92.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	世帯あたりの1日のごみ排出量（g）	指標式と指標の説明	ごみ排出量/世帯数/年間日数（※目標値は、市一般廃棄物処理実施計画に定められた数値）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	2439.0	2352.0	2277.0		
目標	2466.0	2478.0	2356.0	2214.0	
目標達成度（%）	101.1	105.4	103.5		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		最近3年間ではごみの排出量が減少傾向にある。シンポジウムには2年連続で200名を超える多くの参加者が来場している。また、まちかど講座等では、16年度は小中学校や公民館を中心に啓発活動を実施してきたが、17年度には高校、大学での講座も実施し、好評を得ていることから現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
ごみの排出抑制をするためには、市民一人ひとりの意識を高めることが重要であり、本事業を継続して実施していく必要がある。特に、次世代を担う若年層に対する意識啓発が重要であると考えます。			まちかど講座等で講師となる職員の知識・技術の向上が必要となる。また、回数を増やすようであれば、職員体制についても検討する必要がある。 内容が複数課にまたがるなど、他課との調整が必要な場合があり、内容に応じたプログラムの提供が課題となる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			